Focus -フォーカス-

今年で会社創立50年 モノの時代から人の時代へ

今年4月に会社創立50周年を迎えた名備運輸㈱（愛知県小牧市）。平成15年に創業者の得二氏からバトンを引き継いだ丸川靖彦社長はこれまで、「人にやさしい物流」を目指しさまざまな改革に取り組んできた。そして節目となった今年、次世代を中心とした新たな構想も公表。「人にやさしい物流」の先に何があるのか、丸川社長にこれまでの振り返りとともに話を聞いた。

―創立50周年おめでとうございます

ありがとうございます。記念すべき年ですが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で式典はできませんでした。会長（父・得二氏）も今年1月に亡くなりました。会長と一緒に式典ができていれば本人にとって感慨深いものがあったと思います。

―そうした中でも数々の記念行事を行いました

一つは社会福祉に役立てたいという思いで、記念トラックを製作しました。障がい者の方々に描いていただいたイラストをトラックにラッピングしたもので、温かいイラストはトラックを目にする地域の皆さんへ優しい気持ちをお届けできると思います。また、3年ぶりとなる制服のリニューアルや記念ロゴも作成しました。ロゴは事務員によるデザインですが評判も上々です。他にも、50周年という節目に向けて倉庫建設や駐車場拡張など設備投資も行ってきました。

―設備投資は次世代のためでもありますね

今のうちにやっておけば、この先10年～20年は大きくいじらなくてもいい。事業承継もそんなに困ることはないだろうという思いはあります。

―親子2代で50年を紡いでこられたわけですが経営手法に違いはありましたか？

経営手法は大きく変わっていません。しかし創業者と私とでは背景が全然違います。「50年のあゆみ」という年表を作ったのですが、そこで思ったのは、写真に大きな違いがあったこと。父はゼロからのスタートだったので、社屋やトラックなどいわゆるモノの写真が圧倒的に多い。企業が成長過程だったこともあり規模の価値観があったのかもしれません。私はそうしたモノの基盤は既にあったのですが、新たな価値観を作り上げていく必要がありました。私の時代はモノより人を大切にすべきということに気づいたからです。だから私が撮ってきた写真は安全推進決起大会やボランティア活動など、社員に照準を当てたものが多いです。出来上がった年表の写真は前半と後半で好対照となっています（笑）。

―たしかに社長はこれまで、企業規模を追うことはせず、従業員満足度を高めることに注力してきた印象があります

私が先代からバトンを引き継いだのが平成15年。当時は中型免許が新設されるという時期で、この先人手不足の時代が必ず来るという危機感がありました。そうは言ってもなかなか人が定着しない。入社してもほとんどが1年以内に辞め、事故も多い。どうしたらいいか悩んでいるときに師匠である鬼澤慎人氏と出会いました。鬼澤さんに悩みを打ち明けると、「あなたは仕事をしていて楽しいですか？」と問われました。正直に「楽しくないです」と答えると、「私もそんなあなたの下で働いていたら辞めたくなります」と指摘されました。「問題はオレだったのか」と脳天を撃ち抜かれた気分でした。社長就任当初は私も「会社は稼いでナンボだろ」という考えでしたが、それ以来利益は二の次で、自分自身が楽しみ、人を大切にする経営に舵を切りました。

―具体的にどのような取組をされましたか

従業員が誇りを持てるためトラックデザインや制服を刷新したのを皮切りに、業界に先駆け働き方改革を実践しました。また、ドライブレコーダーなど安全機器の導入や地域貢献も推進しました。そうした取り組みを「MEIBI NEWS」に掲載し、社員のご家族や取引先にも紹介しています。

―経営転換の成果は感じられましたか？

もちろんです。離職者や事故が大きく減少しました。車両台数は昔から大きく変化していませんが、人を大切にする経営の結果として売上が伸び、利益にも結び付きました。「利益は会社の排泄物」とよく言われますが、最初から作ろうとするものではなく、すべきことをしていればちゃんと出てくるものだということを学びました。

―次なる50年に向けて抱負をお願いします

当社に関わってくださる方々が幸せになってほしいという思いです。そのために「メイビ村」構想を掲げて人に安心を与えられるコミュニティを目指します。ある程度私がやりたい方向性の会社になっているので、あとはどの段階で後継者にバトンを譲るかですね。私の父がそうだったように、私も譲るときはスパッと譲り、余計な口出しは一切しないでおこうと思っています。

丸川　靖彦● 1966年生まれ。愛知県小牧市出身。名備運輸㈱代表取締役社長。「人にやさしい物流」を経営理念とし、働くスタッフが輝く会社づくりに奮闘中。現在、保有車両約60台、従業員数60名。また、愛知県トラック協会理事、尾東支部小牧部会長など多くの公職も務める

Interview